2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名　　株式会社フルキャストホールディングス　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4848　　URL　https://www.fullcastholdings.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長ＣＥＯ　（氏名）　平野　岳史
問合せ先責任者　（役職名）財務ＩＲ部長　（氏名）　小林　勝昭　（TEL）03(4530)-4830

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有　（当社ホームページで公開　）
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満四捨五入）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	76,364	42.7	6,190	1.1	6,127	△1.0	3,924	△3.6
2025年12月期第３四半期	53,518	5.9	6,122	17.2	6,189	16.2	4,070	△1.7

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期 4,353百万円(　9.5%)　2025年12月期第３四半期 3,977百万円(　△5.2%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	112.73	112.21
2025年12月期第３四半期	116.38	115.81

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	67,149	34,082	47.5
2025年12月期	57,830	32,654	53.0

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　31,918百万円　　2025年12月期　30,662百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	―	31.00	―	32.00	63.00
2026年12月期	―	32.00	―		
2026年12月期(予想)				32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	104,700	35.5	8,700	9.2	8,780	12.9	5,431	13.5	156.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　３社（社名）　株式会社エントリー、RGF タレントソリューションズ株式会社、RGF International Recruitment Holdings Limited　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	35,215,449株	2025年12月期	35,215,449株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	669,273株	2025年12月期	294,070株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	34,810,441株	2025年12月期３Ｑ	34,973,174株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている当社グループの計画、見通し、戦略などは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。従いまして、当社グループの業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これらの見通しのみに全面的に依拠されることは控えて下さるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済・金融情勢および雇用情勢の変化、(2)地震などの災害に伴う企業インフラの損害、(3)当社グループの行う事業に適用のある労働基準法、労働者派遣法等の関連法令の変更、解釈の変更などです。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果により、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、[添付資料]４ページ１.（３）連結業績予想に関する説明をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する説明 …… 2
（２）連結財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益は改善していること、個人消費、雇用情勢に改善の動きがみられること、設備投資は持ち直していること等、景気は緩やかに回復しております。景気の先行きに関しましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されます。一方で、中東情勢や自然災害の影響に加えて、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要があること等から、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

人材サービス業界を取り巻く環境においては、雇用情勢は改善の動きがみられ、就業者数及び就業率が前年同期比で増加していること等、人手不足感が高まっています。先行きに関しましては、緩やかな需要の増加が続くことが期待されます。

このような環境のもと、当社グループでは、当第３四半期連結累計期間において、「事業セグメントの見直し及び子会社の再編を通じた事業運営の最適化、グループ全体の生産性を高めることによる収益力の向上、Ｍ＆Ａの推進に伴う事業領域の拡充」を目標としたグループ経営を行い、特に主要セグメントである短期業務支援事業を中心にフルキャストグループ全体の収益を伸長させることを主眼とした営業活動を行ってまいりました。加えて、継続してグループ全体の業務効率化を推し進め、生産性を高めることで、利益の最大化を図りつつ、更なる事業拡大に取り組んでまいりました。

連結売上高は76,364百万円（前年同期比42.7％増）となりました。これは、新規連結子会社である㈱エントリー（短期派遣事業）、RGF タレントソリューションズ㈱、RGF International Recruitment Holdings Limited及びその子会社（グローバル・ハイクラス人材紹介事業）並びに前連結会計期間に連結子会社とした㈱ビート（業務請負・労働者派遣事業）の業績を取り込んだこと、上期に引き続き、主力事業の短期業務支援事業が伸長したこと等によるものです。

利益面では、増収したことに伴い、連結営業利益は6,190百万円（前年同期比1.1％増）となりました。

連結経常利益は6,127百万円（前年同期比1.0％減）となりました。これは、主に移転前に係る六本木新事務所の地代家賃等や、子会社の拠点集約等に伴う廃店費用を営業外費用に計上したこと等によるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は3,924百万円（前年同期比3.6％減）となりました。これは、主に子会社が保有する土地、建物の売却に伴う固定資産売却益を特別利益に計上した一方、子会社の拠点集約等に係る固定資産除却損及び事務所移転費用等を特別損失に計上したことに加え、非支配株主に帰属する四半期純利益が増加したこと等によるものです。

なお、当社グループはＭ＆Ａを活用した事業基盤の強化・拡大を積極的に進めております。そのため、各国の会計基準の差異やＭ＆Ａに伴う一時的な費用の影響を除いた収益力を把握していただくための参考情報として、調整後ＥＢＩＴＤＡ（営業利益＋減価償却費＋のれん償却費＋株式取得関連費用）を開示いたします。当第３四半期連結累計期間の調整後ＥＢＩＴＤＡは7,485百万円となりました。

当社グループは、2026年１月30日付で㈱エントリーの株式を取得、2026年４月１日付でRGF タレントソリューションズ㈱及びRGF International Recruitment Holdings Limitedの株式を取得し、同社及びその子会社を連結子会社としております。なお、当第３四半期連結累計期間において、RGF International Recruitment Holdings Limited及びその子会社の財務諸表を３か月分取り込んでおります。

2026年２月27日付でグロービート・インターナショナル㈱は、清算結了したため、連結の範囲から除外しております。

2026年４月１日付で㈱フルキャストポーターは、㈱フルキャストを存続会社とする吸収合併、2026年７月１日付で㈱Ｎビジネスは、グロービート・ジャパン㈱を存続会社とする吸収合併、Ｆｉａｈ㈱及びＭｉｃｏ㈱は、Ａｎｎ㈱を存続会社とする吸収合併、2026年８月１日付で㈱おてつだいネットワークスは、㈱フルキャストを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。前年同期比については、前第３四半期連結累計期間の実績を変更後の区分に組み替えた数値に基づいて記載しております。

① 短期業務支援事業

短期業務支援事業の売上高は56,286百万円(前年同期比45.5%増)となりました。これは、新規連結子会社である㈱エントリー及び前連結会計期間に連結子会社とした㈱ビートの業績を取り込んだことに加えて、「派遣」、「請負」を中心に既存サービスの売上高を伸ばせたこと等によるものです。

利益面では、増収したことに伴い、セグメント利益（営業利益）は5,521百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

② 飲食事業

飲食事業の売上高は6,003百万円（前年同期比9.5%増）となりました。これは、前期に実施した新規出店及び新業態の出店効果等によるものです。

利益面では、増収したことに伴い、セグメント利益（営業利益）は364百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

③ ＨＲテック事業

ＨＲテック事業の売上高は3,212百万円（前年同期比30.0%増）となりました。これは、前連結会計期間に連結子会社としたＡｎｎ㈱ （採用代行事業）の業績を取り込んだこと、㈱ヘイフィールド（不動産関連人材紹介事業）が増収したこと等によるものです。

利益面では、セグメント利益（営業利益）は842百万円（前年同期比5.8%減）となりました。これは、増収したことに対し、主に、㈱インプリ（求人検索アプリ事業） が減益となったこと等によるものです。

④ グローバル・長期業務支援事業

グローバル・長期業務支援事業の売上高は2,843百万円（前年同期比8,416.9%増）となりました。これは、新規連結子会社であるRGF タレントソリューションズ㈱、RGF International Recruitment Holdings Limited及びその子会社の業績を取り込んだこと等によるものです。

利益面では、売上高の増収と同様の要因により、セグメント利益（営業利益）は250百万円（前年同期比12,407.8%増）となりました。

⑤ その他事業

その他事業の売上高は8,019百万円(前年同期比17.3%増)となりました。これは、新規連結子会社である㈱クリエージェンシー（商品小売業）の業績を取り込んだこと等によるものです。

利益面では、セグメント利益（営業利益）は562百万円（前年同期比40.2%減）となりました。これは、増収したことに対し、前期は、警備事業においてＥＸＰＯ2025大阪・関西万博に関連した臨時警備案件を獲得していたこと等によるものです。

（２）連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より9,319百万円増加し67,149百万円となりました。自己資本は1,256百万円増加し31,918百万円（自己資本比率47.5%）、純資産は1,429百万円増加し34,082百万円となりました。

資産及び負債区分における主な変動は次のとおりです。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末に比べて5,993百万円増加し40,799百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4,169百万円増加し25,258百万円となったこと及び受取手形及び売掛金が1,030百万円増加し11,124百万円となったこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて3,326百万円増加し26,350百万円となりました。これは主に、のれんが1,009百万円増加し9,050百万円となったこと及び投資有価証券が2,191百万円増加し4,968百万円となったこと等によるものです。

負債の部では、流動負債が前連結会計年度末より5,848百万円増加し27,550百万円となりました。これは主に、短期借入金が5,800百万円増加し16,300百万円となったこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末より2,042百万円増加し5,516百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,607百万円増加し2,964百万円となったこと等によるものです。

（３）連結業績予想に関する説明

当第３四半期連結累計期間業績は期初に想定した前提条件の範囲内で堅調に進捗しております。当第３四半期連結累計期間業績に第４四半期連結会計期間の業績予想値を加算した通期連結業績は業績予想の修正を要する水準には至らないため、2026年２月13日に発表した2026年12月期の通期業績予想の修正は行いません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,089	25,258
受取手形及び売掛金	10,094	11,124
商品	224	196
貯蔵品	16	23
その他	3,411	4,266
貸倒引当金	△28	△66
流動資産合計	34,806	40,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,218	1,744
工具、器具及び備品（純額）	323	596
土地	5,052	4,868
その他（純額）	53	61
有形固定資産合計	6,646	7,270
無形固定資産		
のれん	8,041	9,050
商標権	1,472	1,408
その他	698	1,184
無形固定資産合計	10,212	11,642
投資その他の資産		
投資有価証券	2,777	4,968
その他	3,540	2,622
貸倒引当金	△150	△153
投資その他の資産合計	6,167	7,437
固定資産合計	23,024	26,350
資産合計	57,830	67,149

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	683	885
短期借入金	10,500	16,300
1年内返済予定の長期借入金	363	512
未払金	2,186	2,634
未払費用	2,875	2,306
未払法人税等	1,558	1,279
未払消費税等	1,912	1,383
賞与引当金	51	743
その他	1,575	1,510
流動負債合計	21,703	27,550
固定負債		
長期借入金	1,357	2,964
退職給付に係る負債	955	1,001
その他	1,161	1,552
固定負債合計	3,474	5,516
負債合計	25,176	33,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,780	2,780
資本剰余金	1,888	1,888
利益剰余金	26,102	27,790
自己株式	△482	△1,157
株主資本合計	30,287	31,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	161
為替換算調整勘定	373	456
その他の包括利益累計額合計	374	617
新株予約権	196	182
非支配株主持分	1,795	1,982
純資産合計	32,654	34,082
負債純資産合計	57,830	67,149

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	53,518	76,364
売上原価	34,388	50,479
売上総利益	19,130	25,885
販売費及び一般管理費	13,008	19,695
営業利益	6,122	6,190
営業外収益		
受取利息	18	49
受取配当金	5	40
持分法による投資利益	103	50
その他	64	156
営業外収益合計	190	295
営業外費用		
支払利息	20	208
和解金	13	23
開業費	28	－
地代家賃	2	39
その他	61	89
営業外費用合計	123	358
経常利益	6,189	6,127
特別利益		
投資有価証券売却益	151	17
固定資産売却益	43	286
その他	4	29
特別利益合計	197	331
特別損失		
固定資産売却損	－	2
固定資産除却損	39	121
事務所移転費用	－	47
その他	－	46
特別損失合計	39	216
税金等調整前四半期純利益	6,347	6,243
法人税、住民税及び事業税	2,254	2,188
法人税等調整額	24	37
法人税等合計	2,277	2,226
四半期純利益	4,070	4,017
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△0	93
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,070	3,924

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	4,070	4,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	254
為替換算調整勘定	△10	82
その他の包括利益合計	△92	336
四半期包括利益	3,977	4,353
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,978	4,167
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	187

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自2025年１月１日　至2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	短期業務支援事業	飲食事業	ＨＲテック事業	グローバル・長期業務支援事業	その他事業			
売上高								
外部顧客への売上高	38,697	5,480	2,471	33	6,837	53,518	－	53,518
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	1	3	11	0	23	△23	－
計	38,706	5,481	2,473	45	6,837	53,541	△23	53,518
セグメント利益	5,107	323	894	2	940	7,266	△1,145	6,122

（注）１．セグメント利益調整額△1,145百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,148百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間(自2026年１月１日　至2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	短期業務支援事業	飲食事業	ＨＲテック事業	グローバル・長期業務支援事業	その他事業			
売上高								
外部顧客への売上高	56,286	6,003	3,212	2,843	8,019	76,364	－	76,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	62	4	13	5	87	△87	－
計	56,290	6,065	3,216	2,856	8,024	76,451	△87	76,364
セグメント利益	5,521	364	842	250	562	7,539	△1,350	6,190

（注）１．セグメント利益調整額△1,350百万円には、セグメント間取引消去△63百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,287百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「短期業務支援事業」、「営業支援事業」、「飲食事業」、「警備・その他事業」の４セグメントから、「短期業務支援事業」、「飲食事業」、「ＨＲテック事業」、「グローバル・長期業務支援事業」、「その他事業」の５セグメントに変更しております。これは、Ｍ＆Ａによる事業の追加等を背景に、適切な経営情報の開示区分及び社内における業績管理区分等を見直したためであります。なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメント区分に基づき組み替えて表示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自2025年１月１日 至2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自2026年１月１日 至2026年９月30日)
減価償却費	394 百万円	641 百万円
のれんの償却額	436 〃	663 〃